

協コン建

表彰制度導入など要望

九州支部と熊本市が意見交換

建設コンサルタツ協
会九州支部（種山泰治支
部長）は10月29日、熊本
市と意見交換会を開い
た。「JV制度」「業務
表彰制度」「BIM/C
IM導入」の三つを個別
要望として提示。業務表
彰制度について市は、導
入に向けた選定方法など
を現在協議していると説
明した。

建設コンサルタツ協
会九州支部（種山泰治支
部長）は10月29日、熊本
市と意見交換会を開い
た。「JV制度」「業務
表彰制度」「BIM/C
IM導入」の三つを個別
要望として提示。業務表
彰制度について市は、導
入に向けた選定方法など
を現在協議していると説
明した。

「業務委託ではまだ必要
性がない」と回答し、国
や他自治体の動向を踏ま
え検討していくとした。
業務表彰制度は、昨年
度の意見交換で市が、業
務成績評定制度の運用に
合わせて導入を検討する
と、前向きな姿勢を見せ
ていた。今回、「業種毎
のバラツキや妥当性など
を分析している。そのう
えで選定方法などを検討
していきたい」と答えた
が、具体的な導入時期な
どは示さなかった。

BIM/CIM導入は
新規の要望事項。国土交
通省は2023年度から
設計業務で原則適用して
おり、ロードマップの作
成や活用業務の試行を始
める自治体もある。協会
は試行業務等を検討する
よう要望したが、市は「職
員研修や、検証・環境整備



を終了後の会見で種山支
部長は「いろんな要望・
提案をし、具体的に進ん
でいる項目もある」と市
の対応に感謝した。市の
種山部長は「様々な課題
があると認識している。
できる限り協議し、先を
見据えた対応をしていき
たい」と話した。

熊本城ホールであった
意見交換会には、建コン
九州支部の種山支部長、
栄徳洋平副支部長、理事、
地元会員の18人が出席。
市から、総務局の鮫島裕
和契約監理部長、都市建
設局の官崎晶兆土木部長
など、幹部12人が対応し
た。会議は非公開。

JV制度は、地元コン
サル単独での履行が難し
い業務について、広域コ
ンサルとのJVにより業
務遂行する仕組み。技術
移転の効果がある。共同
で行うことで地元対応を
円滑にでき、地域に即し
た成果が得られる」とし
て導入を求めた。市は